



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 ワタベウェディング株式会社

コード番号 4696 URL <https://www.watabe-wedding.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 花房 伸晃

問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部長 (氏名) 鈴木 眞治 TEL 075-778-4111

四半期報告書提出予定日 2020年5月1日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	9,717	—	△1,229	—	△1,211	—	△2,411	—
2019年12月期第1四半期	13,287	7.8	614	0.6	820	21.8	476	22.5

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △2,489百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 130百万円 (△68.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△243.34	—
2019年12月期第1四半期	48.10	—

(注) 2019年6月27日に開催された第55期定時株主総会において第1号議案「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、2019年12月期より決算日を従来の3月31日から12月31日に変更いたしました。この結果、当第1四半期（2020年1月1日から2020年3月31日まで）と、比較対象となる前第1四半期（2019年4月1日から2019年6月30日まで）の期間が異なるため、2020年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	23,502	8,569	36.4
2019年12月期	25,087	11,138	44.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 8,566百万円 2019年12月期 11,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2020年12月期の第2四半期末及び期末配当予想額は未定としております。

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 業績予想の修正につきましては、本日（2020年4月30日）公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 当ブライダル業界は婚礼の施行時期に季節的変動があり、当社は業績管理を年次で行っていることから、第2四半期連結累計期間については業績予想の開示を行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	9,909,400株	2019年12月期	9,909,400株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	626株	2019年12月期	626株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	9,908,774株	2019年12月期 1 Q	9,908,774株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料等に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 新型コロナウイルス感染症対策に関する現況説明	3
(3) 財政状態に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2019年6月27日に開催された第55期定時株主総会において第1号議案「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、2019年12月期より決算日を従来の3月31日から12月31日に変更いたしました。このため、各セグメントにおける比較につきましては、2019年1月から3月までの3ヶ月間を「前年同一期間」として算出した参考数値と比較しております。

当第1四半期連結累計期間における運営状況と経営成績について、「リゾート挙式」におきましては、販売戦略の強化に重点を置き、前期より引き続き直営店舗再編の一環として、1月に東京・大阪の旗艦店をリニューアルオープンし、ブランド認知及び成約率の向上を図りました。さらに、来店不要型の販売チャネルとして、オンライン上で直接プランナーに相談ができる「リゾ婚オンラインカウンター」、リゾート挙式を申込みから決済まで完結できるECサイト「EASY by WATABE WEDDING」のプロモーションを強化し、顧客の多様化する生活スタイルに合わせたサービス展開を行いました。また、フォト事業においては、SNS利用者増加によるこだわり層向けに、写真映える多様なフォトプランを展開し、国内外の当社フォトサービスの利用拡大を図りました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、ホテル雅叙園東京では、日本美を体現する唯一無二の施設の特徴を活かしたブランディング活動を推進し、婚礼及び宿泊の利用促進を図りました。また、メルパークでは、市場動向を加味した価格コントロールを実施し、稼働率及び客室単価向上を図ると共に、地域密着型の施設特徴を活かした地元企業の宴会や会議利用の促進に努めました。

以上の施策を展開したことなどにより「リゾート挙式」「ホテル・国内挙式」共に、1月は概ね計画通り進捗いたしました。2月後半より新型コロナウイルス感染症拡大による世界各国での出入国規制や外出自粛などの影響を受けた結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高9,717百万円（前年同一期間比15.6%減）、営業損失1,229百万円（前年同一期間営業損失529百万円）、経常損失1,211百万円（前年同一期間経常損失471百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2,411百万円（前年同一期間親会社株主に帰属する四半期純損失497百万円）となりました。

（単位：百万円）

	前年同一期間（参考） （自2019年1月1日 至2019年3月31日）	2020年12月期第1四半期 （自2020年1月1日 至2020年3月31日）	増減率 （%）
売上高	11,517	9,717	△15.6
営業損失（△）	△529	△1,229	－
経常損失（△）	△471	△1,211	－
親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	△497	△2,411	－

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

販売戦略の強化や顧客ニーズに合わせた商品展開により1組当たり単価が向上したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、挙式延期・キャンセルなどによる挙式組数が減少した結果、売上高は4,799百万円（前年同一期間比0.2%減）となりました。利益面につきましては、販売管理費の削減などに努めた結果、セグメント損失は404百万円（前年同一期間セグメント損失484百万円）と赤字ながらも改善いたしました。

② ホテル・国内挙式

前期に引き続きブランド価値訴求などの展開に努めたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、婚礼・宿泊・宴会利用が大幅に減少し、売上高4,918百万円（前年同一期間比26.7%減）、セグメント損失846百万円（前年同一期間セグメント損失35百万円）となりました。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策に関する現況説明

当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策において、お客様と従業員の健康と安全を最優先とし、以下の施策を講じております。

「リゾート挙式」においては、新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言の全都道府県への発令を受け、期間終了日の5月6日まで全国の直営店舗・フォトスタジオの営業を休止しております。当該休業期間中の挙式販売については、来店不要型のWEBサービス「リゾ婚オンラインカウンター」を強化することでオンラインでの接客体制を整え、一部営業活動を継続しております。リゾート挙式の運営状況は、主力拠点であるハワイ・グアムにおいては米国の出入国制限の影響を受け、また、沖縄においても外出自粛要請の影響を受けたことにより、施設の運営を原則休止としております。一方、アジア拠点におけるリゾート挙式販売店舗については、一部営業を短縮するなどの措置を行っておりますが、通常営業にて稼働しております。

「ホテル・国内挙式」においては、前述のとおり緊急事態宣言発令に伴い、ホテル雅叙園東京は期間終了日の5月6日まで全館営業を休止しておりますが、メルパルクは、各地方自治体の要請に合わせ、施設毎に営業縮小や自粛などの対応をとっております。

なお、国内外の当社グループの全従業員においては、休業期間中は一部の業務を除き、原則テレワークに移行しております。

この様に当社グループは様々な対応はとっておりますが、現時点では新型コロナウイルス感染症収束の目途が立っておらず、先行き不透明な状況が続いておりますので、本件の当社グループの業績への影響については、開示すべき事項が生じた場合に、速やかに開示することとさせていただきます。

(3) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ833百万円減少し、7,994百万円となりました。これは主に売掛金の減少によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ752百万円減少し、15,507百万円となりました。これは主に有形固定資産の土地が増加した一方で、投資その他の資産のその他が減少したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,585百万円減少し、23,502百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,059百万円増加し、11,509百万円となりました。これは主に買掛金及び流動負債のその他が減少した一方で、短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、3,422百万円となりました。これは主に固定負債のその他が増加した一方で、退職給付に係る負債が減少したことによるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ983百万円増加し、14,932百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末に比べ2,569百万円減少し、8,569百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,618	4,777
売掛金	1,671	869
商品	207	246
原材料及び貯蔵品	492	434
その他	1,855	1,683
貸倒引当金	△17	△15
流動資産合計	8,828	7,994
固定資産		
有形固定資産		
貸衣裳(純額)	137	126
建物及び構築物(純額)	6,015	5,621
器具備品(純額)	1,134	916
土地	1,675	2,560
その他(純額)	903	906
有形固定資産合計	9,866	10,130
無形固定資産		
のれん	628	610
その他	1,360	1,442
無形固定資産合計	1,989	2,052
投資その他の資産		
差入保証金	2,744	2,816
その他	1,663	511
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	4,403	3,323
固定資産合計	16,259	15,507
資産合計	25,087	23,502

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,002	907
短期借入金	1,600	4,900
前受金	2,963	3,111
賞与引当金	417	625
その他	3,466	1,965
流動負債合計	10,450	11,509
固定負債		
長期借入金	700	600
退職給付に係る負債	1,328	143
資産除去債務	872	873
その他	597	1,805
固定負債合計	3,498	3,422
負債合計	13,948	14,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,047	4,047
利益剰余金	3,346	855
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,569	9,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	17
繰延ヘッジ損益	24	23
土地再評価差額金	△681	△681
為替換算調整勘定	184	127
退職給付に係る調整累計額	9	—
その他の包括利益累計額合計	△436	△513
非支配株主持分	5	3
純資産合計	11,138	8,569
負債純資産合計	25,087	23,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	13,287	9,717
売上原価	4,379	3,226
売上総利益	8,908	6,490
販売費及び一般管理費	8,294	7,720
営業利益又は営業損失(△)	614	△1,229
営業外収益		
為替差益	171	—
その他	41	42
営業外収益合計	213	42
営業外費用		
為替差損	—	11
その他	7	13
営業外費用合計	7	24
経常利益又は経常損失(△)	820	△1,211
特別利益		
退職給付制度移行利益	—	77
その他	—	0
特別利益合計	—	77
特別損失		
減損損失	—	376
その他	45	31
特別損失合計	45	408
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	774	△1,541
法人税等	302	871
四半期純利益又は四半期純損失(△)	472	△2,413
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	476	△2,411

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	472	△2,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△8
繰延ヘッジ損益	△74	△1
為替換算調整勘定	△262	△57
退職給付に係る調整額	△2	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	△341	△76
四半期包括利益	130	△2,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135	△2,487
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	5,907	7,380	13,287	—	13,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,518	92	2,610	△2,610	—
計	8,426	7,472	15,898	△2,610	13,287
セグメント利益	80	505	586	28	614

(注)1. セグメント利益の調整額28百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	4,799	4,918	9,717	—	9,717
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,856	36	1,892	△1,892	—
計	6,655	4,954	11,610	△1,892	9,717
セグメント損失(△)	△404	△846	△1,251	21	△1,229

(注)1. セグメント損失(△)の調整額21百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート挙式」セグメントにおいて31百万円、「ホテル・国内挙式」セグメントにおいて344百万円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2020年4月21日開催の取締役会において資金の借入を行うことを決議いたしました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大と長期化に備えて、経営の安定化を図るべく手元資金を厚くすることを目的に借入を行うものであります。

- | | |
|------------|----------------------------|
| (1) 借入先 | 株式会社三菱UFJ銀行、株式会社京都銀行、その他3行 |
| (2) 借入金額 | 13,000百万円 |
| (3) 借入実行日 | 2020年4月下旬 |
| (4) 返済期限 | 1年以内 |
| (5) 担保等の有無 | 無担保・無保証 |